

【特集 すかがわ男女共同参画プラン21第4次計画を策定】

本市の男女共同参画に関する取り組みを総合的に推進し、一人一人の個性を尊重し、性別にかかわらず能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す計画として、「すかがわ男女共同参画プラン21第4次計画」を策定しました。

●計画の期間

令和7(2025)年4月から令和17(2035)年3月までの10年間

●基本目標

1. 男女共同参画と人権尊重の推進
2. 仕事と生活の調和を意識した環境づくりの推進
3. 安全・安心な生活基盤形成の推進

基本目標3「安全・安心な生活基盤形成の推進」では、施策(13)家庭生活や地域活動における男女共同参画の推進、施策(14)男女共同参画に取り組む地域団体への支援が施策として掲げられています。

少子高齢化や生活環境の変化により、地域コミュニティ活動の維持、継続が困難になってきており、男女が共に社会を支える主体として自覚と能力を高めながら、地域活動における男女共同参画の推進を図る必要があります。

主な取り組みとして、男性が家事に参加するための意識づくりや技術習得の場の提供、地域活動への男女共同参画の推進、市民活動団体の活動内容や情報発信などにより、施策を推進していくこととしています。

また、計画推進体制での市民活動団体の役割として、男女共に社会を支える主体として自覚と能力を高めながら、よりよい社会づくり、活力のある社会の実現のため、男女共同参画の視点を取り入れ行動することとしています。



「第4次計画」はこちら

SDGs特集⑦ 身近なSDGs その4



マイクロプラスチック  
SDGs目標14番「海の豊かさを守ろう」

●マイクロプラスチック問題とは？

私たちの暮らしの中で街から出たプラスチックごみが、風雨によって川などに運ばれて海に流れ込み、自然環境の中で細かく砕かれてマイクロプラスチック(大きさ5ミリメートル以下)になることが知られています。マイクロプラスチックが広大な海に漂うことで、様々な問題が心配されています。このごく小さなプラスチックが、海の生き物だけでなく人体にも影響があるのではないかと心配する声も上がっています。



●マイクロプラスチックをなくすため、私たち一人一人にできること

- ◆ポイ捨てしない! ゴミは持ち帰りましょう
- ◆ゴミを減らそう!

マイクロプラスチックはすべてのプラスチックから発生し得ます。

身の回りにどんなプラスチックがあるか、自分がどのくらいプラスチックごみを出しているか調べてみましょう!

《参考》大阪市環境局パンフレット「マイクロプラスチックに海を汚せたらアカン!! ~プラスチックごみを出さない!~」

須賀川市民活動サポートセンター(須賀川市民交流センターtette1階)

〒962-0845 須賀川市中町4-1

TEL.0248-73-4407 FAX.0248-73-4410 <https://s-tette.jp>

市民活動に関する相談 9:00~17:00

交流スペースの使用 9:00~21:00(日、祝日は20:00まで)

サポセンだよりをwebでご覧になる方は  
こちらから(イベント詳細もこちらから)



須賀川市民活動サポートセンター  
サポセンだより



表紙

つばさ~日中ハーフ支援会「第8回ふくしま子ども多文化フォーラム」

つばさ~日中ハーフ支援会は、日本と中国の子供たち及び親たちの交流の場を作り、互いの文化を理解し合うことを目的に活動をしています。今回の第8回ふくしま子ども多文化フォーラムでは、「つばさ~日中ハーフ支援会」、いわき市の「心ノ橋」、郡山市の「幸福」の3教室と福島移住女性ネットワーク(EIWAN)が主催となり、ルーツを外国に持つ子どもたちの発表などを通し、共生社会を実現するために大切なことや多文化について学ぶ貴重な機会となりました。

会場内は中国文化の独特な雰囲気となっていたこともあり、参加者の興味を一層引き立てていました。

講演会では、東京大学大学院総合文化研究科の阿古智子教授が「変貌する中国と在日中国人社会」をテーマに講演を行い、参加者は異文化交流の大切さについて理解を深めました。

特集

~市民のチカラ~ ・NPOはっぴーあいらんど☆ネットワーク

~サポセンレポート~

- ・須賀川地方ユネスコ協会 ・F・D・C 舞夢 ・須賀川市訪問リハビリ研究会 ・要約筆記通訳すかがわ
- ・須賀川スクエアダンスクラブすまいる ・日本舞踊愛好会(雅園流 みやび会)

~すかがわ男女共同参画プラン21 第4次計画を策定~

・SDGs特集⑦身近なSDGs その4

# 市民のチカラ

## NPOはっぴーあいらんど☆ネットワーク



ダンス



甲状腺エコー検査



ワークショップ①



ワークショップ②

### 活動のきっかけ

2011年、福島第一原発事故を受けて、「子どもたちを守りたい」という願いを共有する子を持つ親たちが中心となり、NPOはっぴーあいらんど☆ネットワークを設立し、原発事故による影響に不安を抱える住民たちの声を受け止め、安心して暮らせる地域づくりを目指して活動を始めました。

### 主な活動

私たちNPOはっぴーあいらんど☆ネットワークは、市民交流センターtetteを会場に、ダンスや演劇などの文化活動を通じて参加者同士が交流する機会をつくっています。  
あわせて、健康相談会や甲状腺エコー検査の実施、被災者・避難者への生活支援、放射能問題や災害に関する学習会・勉強会の実施など、地域に根ざしたさまざまな活動を続けています。  
また、国内外の団体との連携を深めながら、福島の現状や課題について積極的に情報発信も行っています。  
地域の人々の声に耳を傾けながら、福島に暮らす一人ひとりの思いに寄り添うことを大切に、活動しています。

### 活動の中でよかったこと

活動を通して良かったことは、「ひとりじゃない」と感じてもらえる場を提供できたことです。健康相談会などで「安心した。」「相談できて良かった。」と声をかけられるたびに、続けてきて良かったと実感しています。支援を必要とする人たちが、同じ境遇の仲間とつながり、少しでも前向きな気持ちを持てるようになった姿を見ると、大きな励みになります。  
また、地域の中で新たな交流やつながりが生まれたことも、私たちにとって大きな喜びです。

### 今後の抱負

これからも、地域に寄り添いながら、誰もが安心して暮らせる社会づくりに貢献していきます。  
特に、市民交流センターtetteを拠点とした活動をさらに充実させ、ダンスやワークショップなど、子どもから大人まで幅広い世代が参加できる企画を積極的に行っていきたくと考えています。  
ダンスを通じて体を動かす楽しさを知り、ワークショップでは表現する喜びや仲間とのつながりを感じてもらえる場をつくることを目指します。  
また、災害や環境問題に関する知識を深めながら、地域の課題に取り組む力を高め、福島の経験を国内外に発信していく活動にも引き続き力を入れていきます。

## サポセンレポート

今号では令和7年2月からの活動をお届けします。各団体とも、様々な工夫を凝らしながら活動を行っています。各団体の活動に興味のある方は、サポートセンターへご連絡ください。

### 01 須賀川地方ユネスコ協会

「第40回ユネスコ世界平和作文コンクール作品展」



須賀川地方ユネスコ協会は、1971年9月に設立以来、世界平和の祈りと願いを込めて鐘を鳴らす「平和の鐘を鳴らそう」や、教育を受ける機会に恵まれない世界の子どもや大人たちのための「世界寺子屋運動」など、ユネスコ憲章の理念のもとに、世界平和をめざして平和の心をつなげていく活動を推進しています。

今回は、岩瀬地区の小・中・義務教育学校の児童・生徒を対象に、平和な世界を作るために何ができるか考えてもらう「第40回ユネスコ世界平和作文コンクール」を実施しました。その中で特別賞を受賞された12作品を市民交流センターtette通りにて展示し、多くの方に見ていただくことができました。

場所 市民交流センターtette でんぜんホール  
日にち 令和7年2月21日(金)から27日(木)

### 03 須賀川市訪問リハビリ研究会

「ぼかぼかマルシェ」



須賀川市訪問リハビリ研究会では、市内における訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションに従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士同士のネットワークの構築を目標とし、さらには地域住民に向けて健康づくりのための情報発信を行い、健康への意識を高めることを目指し活動しています。

今回は、「ぼかぼかマルシェ」としてからだを動かすことをメインに、スライムやビーズアクセサリー、スイーツデコ体験から体力測定・脳トレなど「健康を体感してもらう」をテーマに健康イベントを開催しました。

また、休憩スポットでは、訪問看護・訪問リハビリの利用者さんの作品等の展示があり、おいしいコーヒーが振る舞われ、多くの参加者でにぎわっていました。

場所 市民交流センターtette でんぜんホール  
日にち 令和7年4月5日(土)

### 05 須賀川スクエアダンスクラブすまいる

「第13回交流パーティー」



須賀川スクエアダンスクラブすまいるは、生涯スポーツ・レクリエーションとしてのスクエアダンスを広く普及・振興させるため、会員の資質の向上を図ると共に広く交流活動を推進することを目的に活動しています。

今回は、「第13回交流パーティー」を開催し、各県から集まった愛好者と鮮やかな衣装に身をまとい交流を深めながら楽しい2日間を過ごしました。参加者のダンスのレベルごとにプログラムが分かれているため、ダンス初心者も気兼ねなく参加することができました。特に、上級者のクラスでは、講師の先生の英語でのコールと「ピンクキャデラック」などの外国の曲に合わせてダンスを披露し、スクエアダンスの魅力を感じる分体験しつつ、楽しく踊ることができました。

場所 市民交流センターtette たいまつホール  
日にち 令和7年4月18日(金)、19日(土)

### 02 F・D・C舞夢

「フォークダンス初心者教室」



F・D・C舞夢は、フォークダンスを通しての健康づくりと明るいまちづくりに寄与することを目的に、世界各国のフォークダンスを楽しく踊っています。

今回は、初心者向けのフォークダンス教室を開き、一般参加者3名、会員18名の合計21名の参加がありました。初心者向けということもあり、すぐに曲に合わせて踊ることができ、講師の先生から丁寧なアドバイスを受け、受講前よりもダンスが上手くなった方も見受けられました。

講習曲となったアメリカやイスラエルの国の踊りに感じつつ、参加者一人ひとりが、音楽に合わせて、楽しいひとときを過ごしました。

場所 市民交流センターtette たいまつホール  
日にち 令和7年5月8日(木)

### 04 要約筆記通訳すかがわ

「男女共同参画講演会」



要約筆記通訳すかがわは、難聴者及び聞こえに何らかの障がいがある人たちの支援として、その場の音声情報を文字情報に替えて通訳行為をすることを目的に活動しています。

今回は、「男女共同参画講演会」において、「家庭における男女共同参画の関わり」をテーマに、講師の星野雅子氏(株式会社Miyabi 代表取締役)

が、これまでの自身の体験をもとに、男女共同参画を推進する必要性とともに、男女共同参画社会を実現するために身近なことからできる意識改革、行動改革として、日常や職場でのアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)の具体例などについて分かりやすく説明いただきました。参加者一人ひとりが、男女共同参画の視点からの言葉づかいや表現を見直す機会となりました。

場所 須賀川市役所本庁舎4階 大会議室A～C  
日にち 令和7年2月2日(日)

### 06 日本舞踊愛好会(雅園流 みやび会)

「月2回の教室から」



日本舞踊愛好会(雅園流 みやび会)は、会員相互の親睦を図ることで、個々の教養と知性を高め合い、健康管理に努めるとともに、日本の伝統的芸能である「日本舞踊」の伝統を継承することを目的としています。また、小・中学生のための着付け教室等を開催し、日本古来の着物文化を身近に感じてもらうための活動を行っています。

月2回ある教室のうち今回の教室では、女踊りの基本を身に付けるため、古典「梅にも春」の唄に合わせて、師範が生徒2名に丁寧に着古をつけていました。生徒は一昨年のサポセンフェスティバルで、日本舞踊に興味を持ったことから早速入会し、毎回教室に通い、日本舞踊の所作をはじめ、いろいろな技能を習得していったそうです。その上達の早さに師範も感心していました。

場所 市民交流センターtette ルーム4-1  
日にち 令和7年5月14日(水)